

経営者インタビュー

EXECUTIVE INTERVIEW



メイクで人生が輝きだす 心理学を活用し魅力発見

Salon Ranunculus

代表 荒金真由美

※営業目的のお電話は固くお断りいたします。

濱中 兵庫県宝塚市に拠点を置く、Salon Ranunculus（サロン ラナンキュラス）さん。メイクセラピーというサービスを提供されているとお聞きしました。どのような内容のものなのでしょう？

荒金 心理学に基づくカウンセリングを通して、お客様がなりたい理想の自分をヒアリングし、それにふさわしいメイク方法を指導します。完全予約制でお客様のお住まいを訪問し、1回3時間かけて行うサービスです。

濱中 初めて耳にするサービスです。メイク方法によって、それほど大きな変化があるのでしょうか？

荒金 ええ。カウンセリングするうちにお客様が本当の自分の気持ちを自覚したり、言葉とは裏腹の理想があることに気付いたり、いろいろな発見があります。そして自分の心の声に気が付き、自分を許すことができた時、驚くほど表情が輝くんです。それまで自分を無意識に押さえ付けていた方が、セラピーをきっかけに、自己受容することができて、それ以来、自分も美しくなってもいいんだと勇気が出て、服装などもがらりと変わられたこともありました。メイクで人生は変わるんです。メイクは半顔だけ私がやらせていただきます。次の日からそのメイクで生きていっていただくために、残り半顔はご自身でメイクができるように伝授させていただいております。

濱中 なるほど、それで新しい自分になれるわけですか！ 荒金代表はメイクアップアーティストとして長く活躍されてきたとうかがっています。この仕事を選んだきっかけを、ぜひ教えてください。

荒金 私は子どもの頃にバトントワリングに打ち込んでいまして。ステージで披露するとき、美容関係の仕事をしていた母にメイクしてもらったんです。そうしたら、自分が誰よりもかわいいと思えて、すごく自信になったんですよ。ももとは自分がスポットライトを浴びたいタイプだという自負があったものの、あの日の自分のような体験を誰かにさせてあげたい気持ちが湧いてきたことが、メイクの道を志す原点になりました。



濱中 ご自身の体験がもとになっているんですね。一口にメイクアップアーティストのお仕事といっても幅広いと思います。荒金代表の場合はどのような分野で活動されてきたのでしょうか？

荒金 初めは弟子入りした先生のもとでファッションショーのヘアメイクをしていました。フリーになってからはテレビ、CMなどの映像関係やカタログの仕事にシフトしまして。業界に入って、39年になります。

ただ、新型コロナウイルスの影響で状況が一気に変わってしまったんです。

経営者インタビュー

EXECUTIVE INTERVIEW

メイクで人生が輝きだす 心理学を活用し魅力発見



濱中 重大な転機を迎えたわけですね。

荒金 はい。一時はメイクの仕事をやめようかとも考えたものの、自分を見つめ直す期間にもなりました。そうしてこれまでの経験を生かせる仕事はないかと探し回って、見つけたのがメイクセラピー、そして介護美容だったんです。介護資格も取得するために、施設にも勤務して、取得後は利用者様のお誕生日会でメイクをさせていただいてい

ます。他にも、いろいろな施設やご自宅に訪問し、ヘアーメイクで変身後、プロカメラマンによる撮影などのサービスも行っているんです。生き生きとした高齢者や障がい者の方の笑顔を見ると、あらためて介護美容の可能性を感じているところです。

濱中 女性は何歳になっても綺麗でいたいもの。利用者さんにもご家族にも喜ばれるでしょうね！ところで、サロンでは車いす着付けやシロダーラというメニューなどもあるそうですね。シロダーラはどのような施術なんですか？

荒金 シロダーラは額にある第6チャクラに、薬効成分を含んだアクアオイルを垂らしてシータ波という周波数を発生させることによって、リラックス効果を得られ、深い瞑想に入ることができるんです。日頃のストレスから解放されパフォーマンスもアップしますよ。

濱中 それを出張型で、自宅にしながらできるのはありがたいですね。ところで、店名のラナンキュラスにはどんな意味があるんですか？

荒金 ラナンキュラスというお花があり、「あなたは魅力であふれている」という花言葉が気に入って屋号にしました。多くの人が、自分の持っている魅力に気が付いていなかったり、忘れがちだったりすると感じています。メイクセラピーによってその魅力を見つけるお手伝いをしたいと思っているので、ぴったりの店名が見つかって良かったです。お客様も、セラピーを通じて「私も変わって良いんですね」「自分を好きになることができた」と言ってくれることも多く、新たなやりがいを感じています。



濱中 今日のお話から、メイクにはその人の人生さえも変えられる力があるんだと知って、大変感銘を受けました。世の中には自分の生き方に悩んでいる人がたくさんいると思うので、メイクセラピーをもっと広めて、良い方向に変われるきっかけを与えていってください。私も応援しています！

「仕事を楽しむ」とは…

もともと、誰かの役に立つのが好きなので大きなやりがいを感じています。以前は、「ありがとう」という言葉を求めて人助けをしていたこともあったものの、今は「自分が好きなことをしているのだから」という感謝の気持ちで仕事に取り組んでいます。好きなことができるのは、とても幸せなことですよ。

（荒金真由美）